

アミノインデックス検査で 一度に がんの可能性と糖尿病の発症リスクを評価

アミノインデックス®リスクスクリーニング検査 (AIRS)

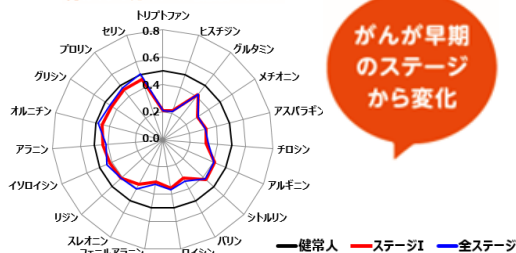
5 mL程度の採血で、現在「がん」である可能性と4年以内に「糖尿病」を発症するリスクを評価します。



検査の特徴

アミノ酸は血液にも含まれており、健康な方の血液中のアミノ酸濃度は一定に保たれるようにコントロールされています。しかし、がんになるとアミノ酸濃度のバランスはがんが早期の段階から変化します。この特徴を生かして、現在がんである可能性を評価します。

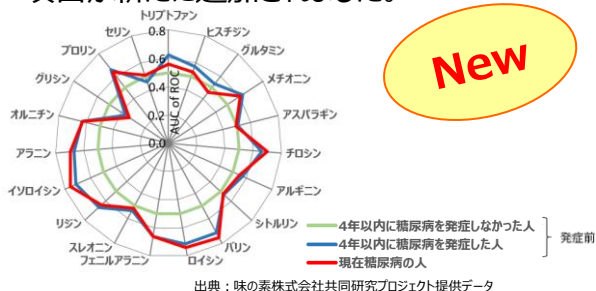
胃がんの方のアミノ酸濃度バランス



がんが早期のステージから変化

出典：PLoS ONE September 2011/Volume 6/Issue 9/e24143

4年以内の糖尿病発症リスクを評価する項目が新たに追加されました。



糖尿病を発症した人は4年前からアミノ酸濃度のバランスが変化していることが確認されています。

糖尿病の方（治療中を含む）でも結果が出力されますが、糖尿病リスク検査については評価対象外となります。

検査の対象と検査前の注意事項

評価項目		対象年齢
男性	がんの可能性	25~90歳 ※前立腺がんは40~90歳
	糖尿病リスク	20~80歳
	アミノ酸レベル	20~80歳
女性	がんの可能性	25~90歳 ※子宮・卵巣がん20~80歳
	糖尿病リスク	20~80歳
	アミノ酸レベル	20~80歳

※検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、数値に影響が出ますので、検査は受けられません。

食事

検査前8時間は水以外は



検査前8時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないでください。

運動

当日朝は



正しい検査結果を得るために、検査当日朝の運動はお控えください。

お薬

事前に相談を



薬剤の検査への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談の上、その指示に従ってください。

- この検査は、がんである可能性を評価する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。ランクAでもがんでないとは言いきれません。ランクBやCであっても必ずがんであるということではありません。
- この検査は、採血を行った時の、がんである可能性を評価する検査です。生涯にわたるリスクを予測するものではありません。AICS は、その他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。
- 子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することはできませんが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。
- この検査は生涯にわたる糖尿病リスクを予測するものではありません。なお、ランクAでも100% 4年以内に糖尿病を発症しないとは言いきれません。ランクBやCであっても必ず4年以内に糖尿病を発症するということではありません。

TEL : 099-206-8381
(人間ドック担当)

鹿児島市医師会病院
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号